

事務所の研鑽の場「天竜塾」について

小林 智徳

中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 管理課（〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南 7-10）

天竜川上流河川事務所では、職員の技術力向上を目指し、業務遂行の一助となる知識・経験・情報等を取得することを目的として、毎月1回程度、職員の勉強会「天竜塾」を開催しています。この「天竜塾」は、15年前の平成20年からスタートし、その回数は150回を超えました。「天竜塾」では、さまざまな研修・講習により職員の能力向上と技術習得の機会を提供し、また、職員同士の交流促進によりブロック内の連携強化なども目指して実施しております。

キーワード 技術力向上, コミュニケーション

1. 平成20年頃の天竜川上流河川事務所

(1) 平成18年7月豪雨による堤防決壊

平成18年7月豪雨により諏訪湖、天竜川上流部で観測史上最大の雨量を記録し、諏訪湖周辺では昭和58年災害以来23年ぶりの大浸水が発生するとともに、天竜川本川でも堤防が決壊する等、広い範囲に被害が生じました。

(2) 激特事業

このため、天竜川上流河川事務所では、激甚災害対策特別緊急事業を行っていました。事業は、河道掘削等のハード整備、災害情報相互通報システムなどのソフト整備だけでなく、水生生物保護・多自然川づくりなどの環境面への配慮にも取り組まれていました。

(3) 知識や経験の継承

当時、事務所では、建設技術の継承が重要視されていましたが、直轄河川ではあまり経験がなかった堤防決壊への対応や激特事業の推進にあたり、あらためて、これらの知識や経験を継承していくことが重要だと考えられました。

これらが天竜塾のきっかけになったといえます。

2. 天竜塾の概要

(1) 規約

「本塾は、天竜川上流河川事務所に在籍する職員を対象に業務遂行の一助となる知識・経験・情報等を取得することを目的とするための講演会又は研修会等を月1回

程度開催する。」

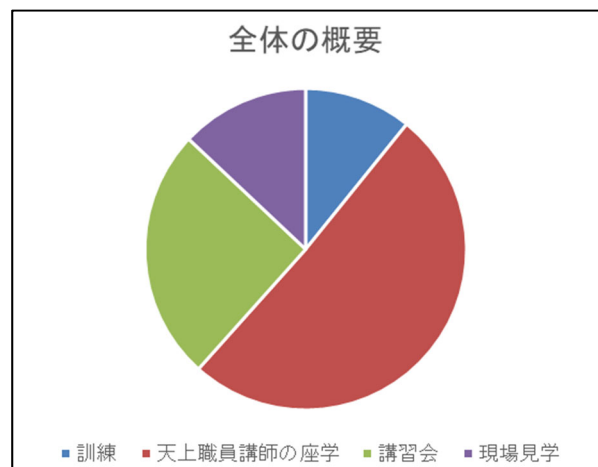
(2) 実務経験を通じた実践的な研修

天竜塾では、研修テーマの多くが実務経験を通じた実践的な内容となっています。このため、講師は事務所長などの職員が行いますが、ときには研修テーマに精通した職員OBなどにも依頼します。

実際に業務を経験した職員等から、実務的な考え方や苦労話を聞くことができ、職員のスキルアップに効果があるといえます。

（代表的なテーマ）

- ・砂防計画、設計、現場のなぜと砂防堰堤安定計算の考え方
- ・地元説明、工事執行プロセス検討の進捗状況
- ・河川護岸の被災事例にみる設計・施工時の留意点
- ・河川巡視のポイントについて
- ・流出計算の理論と演習



(3) 長野ブロックの事務所を対象に開催

平成22年頃からは、一部の訓練について、天竜川上流河川事務所だけではなく、長野ブロックの他の事務所にも参加を呼びかけたり、他の事務所の工事現場に見学する機会があれば声をかけてもらったりしています。

(代表的なテーマ)

- ・災害対策車両操作訓練
- ・水質事故現地対策訓練
- ・トンネル工事・橋梁工事の現場見学
- ・既設コンクリート取り壊しの施工現場講習会

(4) 天竜川上流河川事務所ならではの講習

天竜塾の中には、当事務所ならではの変わった講習も開催されます。

例えば、総合水防演習を行おうとしていた会場の除草が必要となりましたが、職員向けに草刈り機の使い方の講習を実施し、除草を行いました。また、護岸工事の仮締切を施工する際に、魚が取り残されてしまうことがあります。その魚たちを救出するというものもありました。そのほか、登山に詳しい職員OBから、登山する側から見た中央・南アルプスの特徴を聞くなど、通常業務では知り得ない内容のものもあります。

(代表的なテーマ)

- ・水防演習会場の草刈りを目的とした草刈り機の使い方講習
- ・お魚救出大作戦
- ・点群データのおいしいいただき方
- ・中央・南アルプスの概要と登山史

3. 研鑽と交流の場「天竜塾」

(1) 技術の習得と地域の学習

天竜塾では、実務経験を生かした実践研修による知識の習得や、災害対策車の操作や水質事故への対策を行う訓練などにより、実際の現場での訓練を通じて災害や緊急事態における対応力を身につけられます。

また、天竜川で魚の救出を経験したり、登山家目線から見た中央・南アルプスを知るなど、地域の特性を生かした講習会もあり、地域のこと多面的に知る機会にもなっています。

(2) 職員交流

実際の現場で事務所の他の職員や長野ブロックの他の事務所の職員と一緒に訓練や体験を行うことにより、天竜塾をきっかけに長野ブロック内の職員の交流も促進し、職員同士の情報交換や連携を強化する役割も果たしています。若手職員にとっても貴重な機会だといえます。

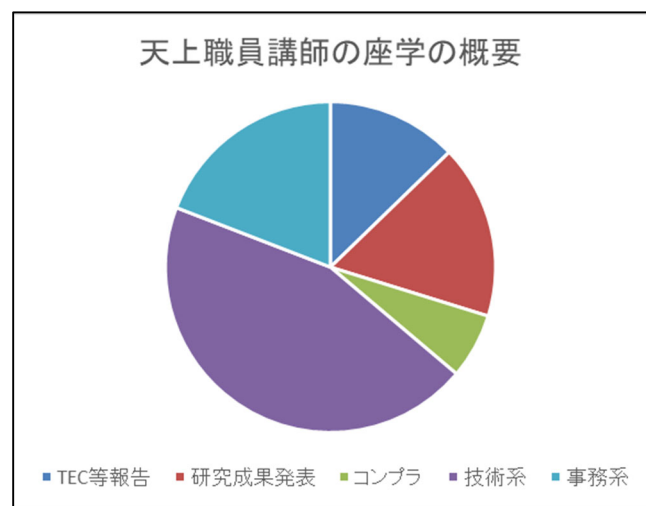
4. 課題

天竜塾の内容は、天竜川上流河川事務所の副所長、事業対策官、工事品質管理官ら経験豊富な職員にて企画され、事務所に報告した後、開催されてきています。

時代の流れに合わせて、職員に伝えたい、習得して欲しい内容が提案されてきました。

講習参加者の理解が深まるよう、講師の方々には、開催までの準備に時間を割いていただき、よりよい講習となるよう様々な工夫を凝らしていただいておりますが、近年職員の数が減少してきている中で、適任となる講師の確保も課題として考えられます。

また、講習の内容により参加人数も変化するため、事務系、技術系を問わず参加できる内容やドローンやICT（情報通信技術）といった新技術に対応していくための魅力ある企画提案が重要になると考えます。



5. 今後の天竜塾

知識と経験の継承を重視して始まった天竜塾ですが、最近では、新しい技術に関する講習も増えています。

継承と最新技術の習得はどちらも重要であり、また、近年は若手職員が多くなってきたので、初歩的な実務も取り入れて行く予定です。